

うじたわら

No. 113

2022.11.1

議会だより



令和3年度の施策を検証(決算特集) ……P2～P6

町政ズバリ聞く(一般質問)
インタビュー(藤田 真至さん)

P11～P15
P17

=宇治田原小学校 運動会=
キラキラ玉入れ
秋晴れのもとがんばりました

令和3年度 決算

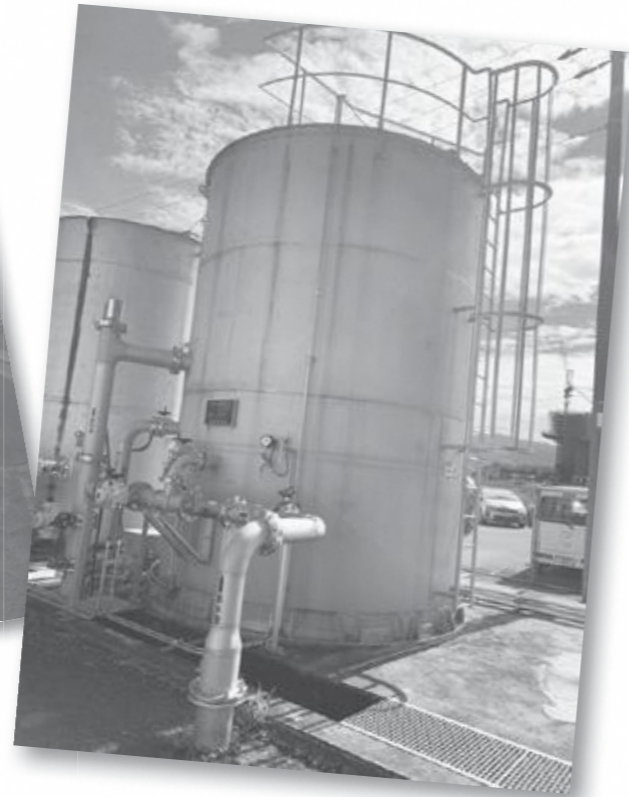
一般会計

実質単年度収支 未来へReスタート

が10年ぶりに黒字 持続可能なまちづくりへ



宇治田原山手線整備事業費
1億6,630万円(繰越含む)



急速ろ過機改良事業費(繰越)
(水道事業会計)
1億5,123万円



遠隔学習支援機器等整備事業費
1,026万円

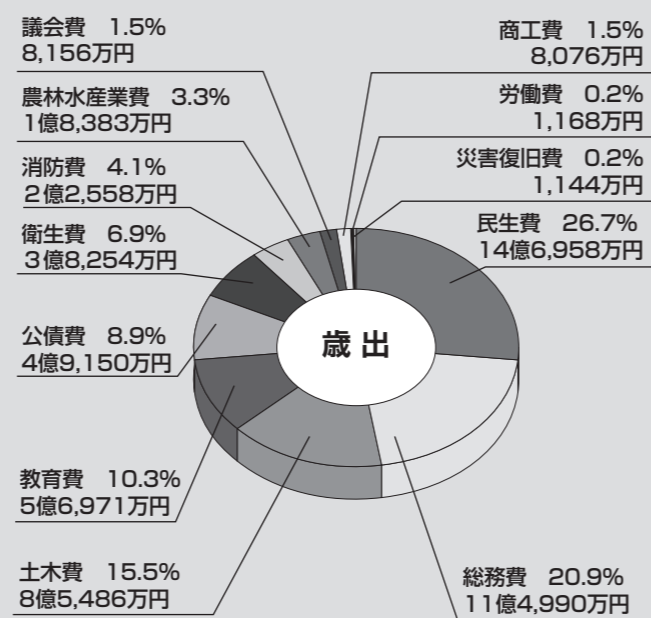
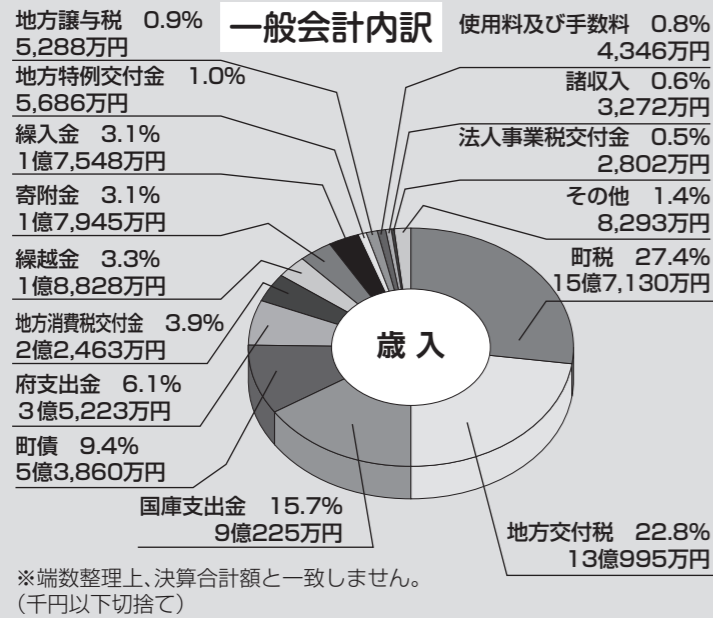


役場庁舎跡地整備事業費
3,782万円



町ホームページ整備事業費
524万円

令和4年第3回定例会は、9月5日から9月29日まで開催した。予算関係4件、条例関係3件、決算関係6件について提案があり、原案通り可決・認定した。一般質問には8人の議員がたち、活発な議論を展開した。



※端数整理上、決算合計額と一致しません。(千円以下切捨て)

各会計の決算一覧

※端数整理上、歳入歳出差引は一致しません。(千円以下切捨て)

会計名	歳入	歳出	歳入歳出差引額	
一般会計	57億3,911万円	55億1,301万円	2億2,609万円	
特別会計	国民健康保険	10億3,952万円	10億25万円	3,926万円
	後期高齢者医療	1億3,867万円	1億3,689万円	178万円
	介護保険	7億9,768万円	7億8,631万円	1,136万円
水道事業会計(税込み)	保険事業勘定	609万円	375万円	234万円
	収益的	2億8,985万円	2億4,172万円	4,812万円
下水道事業会計(税込み)	資本的	1億9,499万円	2億8,458万円	△8,958万円
	収益的	4億6,805万円	4億5,399万円	1,406万円
	資本的	3億9,224万円	5億2,500万円	△1億3,275万円

定例会

定例会

決算特別委員会は、監査委員を除く11名で設置し、委員長に藤本英樹議員、副委員長に宇佐美まり議員を選出し審査を行い、6議案すべてを原案通り認定した。

9月20日から26日まで決算特別委員会を開会した。令和3年度一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者特別会計、介護保険特別会計、水道事業および下水道事業会計の各決算の個別審査を行った。

22日には急速ろ過機改良事業費、役場庁舎跡地整備事業費、新市街地都



中学生と企業がコラボしたふるさと納税返礼品

市公園整備事業費の3箇所について、現地審査を実施した。

最終日の26日には、総括審査を行い、その後、それぞれの議案について採決をし、決算特別委員会を閉会した。

ここが聞きたい〈総括質疑〉

子育て支援の拡充を
(今西利行委員)

○ ふるさと納税の寄附金も活用し、高校生通学費補助の見直し、学校給食の無償化、子どもの医療費無償化拡充など、子育てにかかる経済的負担の軽減策の拡充や、町独自の少人数学級による教育環境の充実に取り組むべきでは。

○ 子育て支援は本町の最重要課題の一つであり、限られた財源の中で、何が必要で、何ができるのかをトータル的に捉え、子どもたちは「まちの未来」「まちの宝」であるという想いで、多様な施策を実施してきた。今後もふるさと応援寄附金を有効に活用し、子育て支援施策を推進していく。

もっと聞きたい〈個別審査〉

一般会計
(議案第37号)

H P更新後の意見は

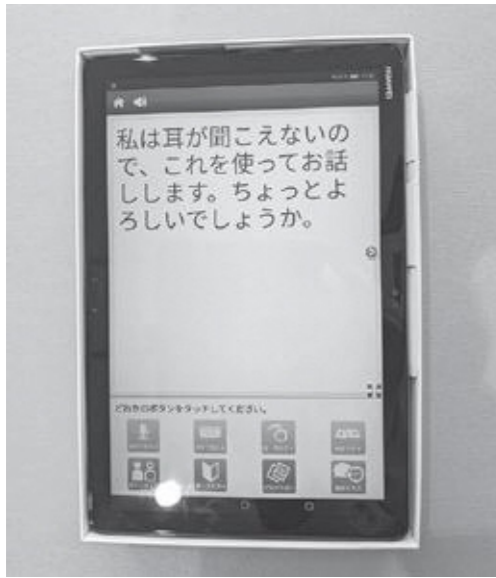
○ H Pについて、更新後どのような意見があったのか。また、検索方法の案内やP R方法は。

○ リニューアル後は見やすくなり、検索しやすくなったと意見をいただいている。自治体からの

障がい者の対応は

○ 障がい者コミュニケーション支援事業費について、手話通訳派遣者を予約されずに来庁されたことはあったのか。予約なしの場合、リモートなどにより実施できると考えるか。

○ 令和3年度、事前予約なしの来庁はなかった。窓口には筆談機を備え付けているとともに、当日、京都府聴覚言語障害センター



聴覚言語障害者タブレット

○ コロナ禍でふるさとまつりなどイベントが開催できない中、お茶の情報発信は

○ コロナ禍でふるさとまつりなどイベントが開催できない中、お茶の情報発信は

○ 和室なども活用し、空間を確保する対応で、現状のまま利用していきたい。

○ お茶の京都観光まちづくり推進事業費について、おもてなし推進補助金1件の事業内容は。

○ 地域の若手経営者や大学生が実行委員会形式により、コロナ禍で挙式ができなかったご夫婦の結婚式を、正寿院で行われた事業である。

専用施設が必要では

○ まるやま交流館は部屋を2分して指導しているが、専用の施設が必要では。

情報発信はH Pからが多いことから、親しみやすいH Pにしていきたい。

障がい者施設の増設は

○ 施設に通所されている方の人数および町内グループホームの定数は。

○ 次期第7期障がい福祉計画との整合性を図りながら、むく福祉会と協議を行い、人数を把握し取り組みたい。



障害福祉サービスセンターうじたわら

反対討論

福祉、教育、子育て支援を切り捨てるな
今西利行議員

住民の足として長年、無料運行してきた町営バスの有料化は、福祉の後退。敬老祝い金や高校生の通学バス代補助が減額されたが、未来のまちの姿を見据えるなら、福祉や教育、子育て支援策を切り捨てるべきではない。

ふるさと納税の寄附金を、子どもの未来に使うのなら、子育てにかかる経済的負担軽減や、基礎学力をつけるため町独自の少人数学級を。

財政難を理由に小中学校施設一体型計画を延期したが、計画がずさんで無責任である。住民の意見に真摯に耳を傾け、議論を尽くせ。

賛成討論

持続可能なまちづくり、コロナ対策などを評価
山内実貴子議員

令和3年度は、持続可能なまちづくりへ、人口減少対策と地域創生の着実な推進に向け、宇治田原山手線および幹線道路の整備など、まちの基盤整備、新型コロナウイルス対応等の重点施策を進められた。

新型コロナウイルス感染症予防対策として、ワタチン接種の継続、厳しい状況にある方々や子育て世代、また町内中小企業等への支援給付など、高く評価する。今後も、財政運営の適正化と健全化に向け、これまで以上に取り組まれるよう望む。

介護保険特別会計
(議案第40号)

新たな施設の建設は

○ 他施設の重複も含めてサンビレッジの入所申し込みが32名とのことだが、新たな施設の建設を

含めた次期計画は。

○ 本年度中に見直しを開始する高齢者福祉計画。来年度に見直す障がい者基本計画の整合性を図り、事業者の意見を聴取しながら考えていきたい。



高齢者福祉施設サンビレッジ

後期高齢者医療特別会計(議案第39号)

反対討論

負担増が重症化を招く
山本精議員
10月から、窓口負担が2割に引き上げられる。負担が2倍になれば大規模制度には反対である。

模な受診抑制がおき重症化を招き、本会計を圧迫することになる。高齢者が安心して医療を受け、健康な生活を送れるようになるような本制度には反対である。

決算監査意見書(要旨)

令和3年度各会計の決算については、予算現額、収入済額、支出済額、予算台帳、出納簿、収入簿、支出簿、指定金融機関の収入、支出済額報告及び出納証書類等を審査した結果、計数的に正確であり予算執行の成果等各会計とも良好であると認める。

現地審査についても、資料及び現地確認の結果、適正に執行されていると認められる。今後においても、新型コロナウイルス感染症への対応、人口減少、少子・高齢化等により、厳しい状況で推移することが予想されることであるが、中長期的な視野に立ち、住民の福祉の増進に努め、最小の経費で最大の効果を挙げる町政運営を常に意識することを要望し、監査の意見とする。
監査委員



現地審査(新市街地都市公園整備事業費)

一般会計補正予算(議案第43号)

住民税非課税世帯等への価格高騰緊急支援給付金事業費の追加

反対討論

さらなる円安を招く
森山高広議員
ある程度のインフレを受け入れず補助金に頼れば、円の価値低下を招き、不内容である。



現地審査(急速ろ過機改良事業費)

総務建設常任委員会

9月13日、付託議案3件を審査した。また、報告事項4件があった。

コンプライアンス条例の制定
(議案第34号)

「入札不正再発防止策」に基づき、法令遵守、倫理意識向上を図り、住民に信頼される町政を確立することを目的とした条例を制定するもの

「その他必要な措置」とは

○ 「その他必要な措置」の具体的内容、行動指針と内部告発制度との関係は。
○ 「その他必要な措置」とは、職員の行動、発注、談合防止マニュアル関係の整備などである

り、公益通報制度は行動指針ではなく、別途要綱で定めている。

育児休業等に関する条例の一部改正
(議案第35号)

職員の子育て休業の取得回数制限を原則2回までに緩和するほか、非常勤職員の育児休業取得要件を緩和するもの

パパ育休の推進方法は

○ パパ育休の取得推進や意識浸透についての取り組みは。
○ 全職員に通知を行うとともに、個別周知を行い、取得推進を図っている。



町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正
(議案第36号)

馬道住宅団地を削除するもの

町営住宅戸数減少対策は

○ 町営住宅の戸数が減少するが、その対応は。
○ 解体後、岡之敷と天皇で36棟になるが、2棟の空きもあり困窮度合いも高くなる、追加建設は考えていない。

町営住宅になりうる関係も含めてトータル的な考えは。

○ 空き家問題と町営住宅を一緒に考えていないが、増加する空き家の活用と町営住宅の老朽化に伴う再建築の議論は、総合的に検討していかなければならない。

〈報告事項〉
まちづくり推進課

・新名神高速道路建設事業等の進捗状況
・森林経営管理事業について
・新しい地域公共交通に係る周知について
・茶品評会審査結果



新名神高速道路工事

文教厚生常任委員会

9月14日、福祉担当課より事業執行状況3件、教育委員会より報告事項2件があった。

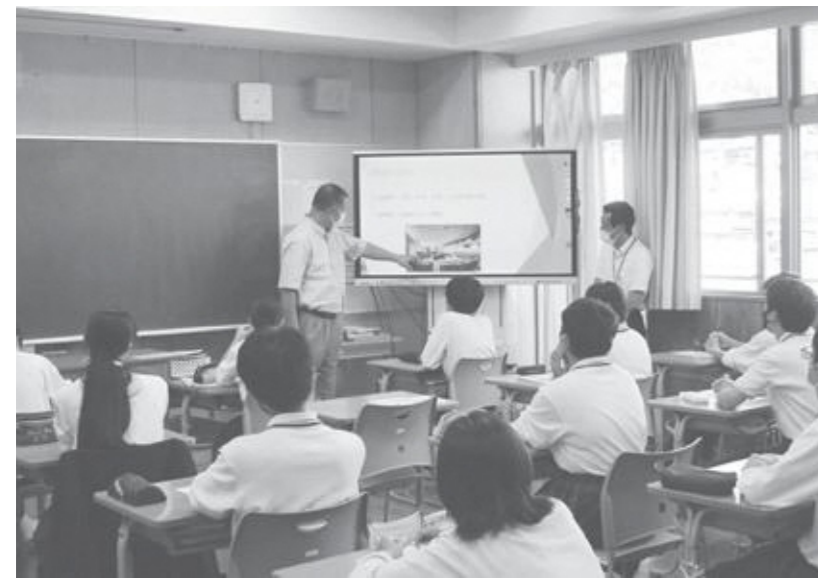
・学校給食の現状について
○ 2学期分の給食費は免除ということだが、食材価格が高騰している。3学期以降はどうか。

議会活性化特別委員会

定例会後、議員全員による、議会活性化特別委員会を開催し、中学生議会および、ハートウォーミング自治体議会Webサミットについて協議した。

議会活性化特別委員会

平成28年6月から選挙権の年齢が引き下げられたことに伴い、将来を担う中学生に、民主主義の原則や、地方自治の現場である議会を体感することで、行政や議会に対する関心度を高め、まちづくりへの参画を身近なものとする主権者教育の一環として、議会活性化特別委員会が昨年度より取り組みを行っています。中学生が、日頃より疑問に思っている町の施策などについて、行政職員の役割の議員に質問をぶつけ、それを議員が答えるものです。今年3月に議場において実施予定で



中学生議会への参加呼びかけ

中学生議会在 令和4年11月5日(土) に開催します

したが、コロナまん延防止期間のため、中学生からの施策についての質問は、書面で返すことしかできませんでした。本年度は11月5日(土)に第2回目の実施を計画しました。中学生が町政に関心を持ち、豊かな発想力で、町をより良くしようとする提案や質問を行っていただけるこの取り組みを、成功させたいものと考えています。

ハートウォーミング自治体議会Webサミットを 令和5年2月14日(火) に開催します

本町議会が全国の『ハート』をキーワードにして『ハートウォーミング(心が温まる)』自治体運営における議会の役割をテーマとし、ハートを標榜する自治体運営について、昨年度に引き続き2回目のオンラインサミットを令和5年2月14日(火)に実施するものです。

参加予定議会

- 京都市大山崎町
- 兵庫県神戸市川町
- 兵庫県南城市



前回のWebサミットの様子

定例会

社会教育課

■メニューを工夫して赤字解消に努めたい。

■食材費は下がることはないと思うが、3学期以降もきちんとした献立になるのか。値上げするのであれば、早めの決断も必要では。

■栄養価を落とさないように調整する中で考えている。人員の面で移動図書館は難しい。

・令和3年度町総合文化センター等利用状況

■過去に、移動図書館があったが、今後は、

■平成8年に総合文化センターに図書館ができ、蔵書数も増え、たくさんの本に出合えると考



学校給食共同調理場

予算特別委員会

9月定例会では、付託議案3件があった。

一般会計補正予算
(議案第31号)

補助金の対象者は

■燃料油等価格高騰対策補助金の対象者は、

■本町は燃料使用量のデータを持ち合わせておらず、推計ができない。そのため、関係機関と相談協議する中、申請件数は、

介護保険特別会計補正予算
(議案第32号)

パブリックコメントの時期は

■介護保険事業計画策定事業費について、パブリックコメントの時期は、

水道事業会計補正予算
(議案第33号)

水道料金改定の考えは

■物価高騰対策水道料金減免事業負担金について



水道メーター (家庭用)

■前回の計画策定時は、作成委員会を開催し、骨子案を作成した後、12月18日から1月22日に実施した。今回は業務を前倒しして、来年の秋ごろにパブリックコメントを実施し、計画の策定に取り組みたい。

■水道料金の改定は、水道事業および下水道事業経営等審議会で議論していく内容であるが、給水人口の減少、設備の更新など、水道事業は今後大きな費用負担が想定され、料金改定は検討していくべきと認識している。

■今回の補正は原油価格・物価高騰対策が目的だが、今後、人口減や水道管設備の老朽化などによる、水道料金改定の考えは、

一般質問

ズバリ! 町政を問う

9月8日

一般質問とは、議員が行政全般にわたって執行機関である町に対し、事務の執行状況や方針などを質問します。主な内容について、各議員の要約原稿を掲載しています。



質問者	質問事項
1 宇佐美まり (P12)	1. 学校教育
2 藤本英樹 (P12)	1. 森林管理 2. 観光事業 ※
3 今西利行 (P13)	1. 地域公共交通 2. 子どもたちの安全対策 ※
4 山内実貴子 (P13)	1. 母子保健 2. ワクチン接種の助成

質問者	質問事項
5 山本 精 (P14)	1. 有害鳥獣対策 2. 新型コロナウイルス感染症対策 ※
6 森山高広 (P14)	1. 現実と向き合うプログラミングや外国語の推進
7 浅田晃弘 (P15)	1. 観光振興計画
8 原田周一 (P15)	1. 学校給食費の公会計化 2. 障がい者・障がい児支援 ※ 3. コロナ禍における小中学校のマスク着用 ※

※印の質問事項は本紙には掲載しておりません。詳しくは録画による動画配信をご覧ください。



傍聴のご案内

宇治田原町議会を傍聴しませんか。傍聴券は本会議・委員会当日に町役場3階議会事務局で発行致します。議会の日程などはホームページ (<http://www.town.ujitawara.kyoto.jp>) をご覧いただくか、議会事務局 (☎ 88 - 6641) までお問い合わせください。



議会の日程はこちらから

議決のあらましと表決結果

[○賛成・●反対・▲退席・一欠席・△除斥]

種別	議案番号	議案名と内容	賛成討論	反対討論	結果	浅田	原田	宇佐美	山本	山内	上野	藤本	森山	馬場	榎木	今西
予算	議案第31号	令和4年度宇治田原町一般会計補正予算(第2号)(小中学校給食費支援事業費等の追加)【8,774万5千円の追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第32号	令和4年度宇治田原町介護保険特別会計補正予算(第1号)(介護保険事業計画策定費用等の追加)【655万4千円の追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第33号	令和4年度宇治田原町水道事業会計補正予算(第1号)(水道基本料金を減免するための所要額の補正)【収益的収入148万5千円の追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第43号	令和4年度宇治田原町一般会計補正予算(第3号)(住民税非課税世帯等への価格高騰緊急支援給付金事業費の追加)【4,770万円の追加】		✓	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
条例制定	議案第34号	宇治田原町コンプライアンス条例を制定するについて(透明で住民に信頼される町政を確立することを目的に制定)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第35号	宇治田原町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて(職員の育児休業の取得回数制限緩和等の改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例改正	議案第36号	宇治田原町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて(馬道住宅団地を削除するもの)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第37号	令和3年度宇治田原町一般会計歳入歳出決算認定について【歳入57億3,911万円 歳出55億1,301万円】	✓	✓	認定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●
決算	議案第38号	令和3年度宇治田原町国民健康保険特別会計(事業勘定)歳入歳出決算認定について【歳入10億3,952万円 歳出10億25万円】			認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第39号	令和3年度宇治田原町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について【歳入1億3,867万円 歳出1億3,689万円】		✓	認定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●
認定	議案第40号	令和3年度宇治田原町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について【保険事業 歳入7億9,768万円 歳出7億8,631万円】 【サービス事業 歳入609万円 歳出375万円】			認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第41号	令和3年度宇治田原町水道事業会計決算認定について【収益的収入2億8,985万円 支出2億4,172万円】 【資本的収入1億9,499万円 支出2億8,458万円】			認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第42号	令和3年度宇治田原町下水道事業会計決算認定について【収益的収入4億6,805万円 支出4億5,399万円】 【資本的収入3億9,224万円 支出5億2,500万円】			認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

◎谷口議長は賛否同数以外は表決に加わりません

福祉の観点で年間無料パス券は

関係部門と協議していく



いまにしとしゆき
今西利行議員

○ 町営バスはこれまで20年以上、無料で運行してきた。10月から1乗車300円の有料となるが、運転免許を持たない高齢者などの交通弱者については、福祉の観点から年間無料パス券などの発行を検討すべきでは。

○ 福祉の観点から、より支援が必要な方への対応については、利用状況を分析し、福祉部門とまちづくり部門、地域公共交通活性化協議会で協議している。

○ 路線バスの町内移動運賃を考慮し、町営バスの運賃を大人300円に設定した。路線バスと連携・協力し、公共交通を維持・継続していくことが何よりも重要と考えている。



有料化となった町営バス

母子健康手帳のリニューアルは

京都版母子健康手帳を参考に作成



やまうちみきこ
山内実貴子議員

○ 今回、約10年ぶりに母子健康手帳がリニューアルされると聞く。宇治田原町独自の母子健康手帳の導入は。

○ 京都府でも、子育て環境日本一の京都版母子健康手帳を作成する。本町もこれを参考に、よりよい手帳を作成したい。

○ 低出生体重児など小さく生まれた赤ちゃんの成長も細かく記録できる、リトルベビーハンドブックをサブブックとして作成しては。

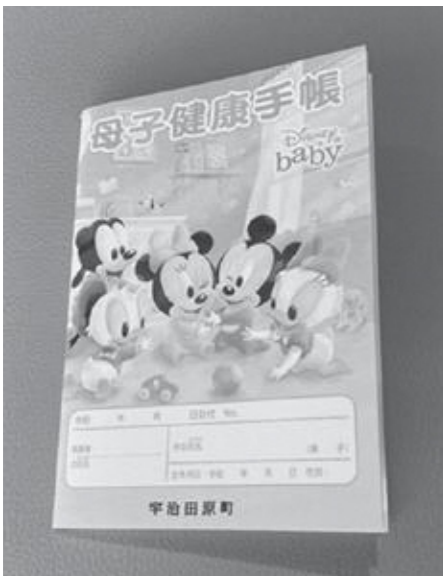
○ サブブックの作成も

○ 今回のリニューアルは、前向きに明るい気持ちで出産・育児に臨めるよう支援に努めたい。

○ ワクチンの助成は

○ ワクチンで予防ができる子宮頸がんについて、9価ワクチンの助成と、接種体制の整備を。

○ 長く差し控えられていた子宮頸がんワクチンの情報を、適切な時期に周知し、その効果とリスクを理解いただき、接種希望の方への体制を確保したい。9価ワクチンについては国の動向を注視したい。



本町の母子健康手帳

中学校部活動の地域移行は

より良い地域スポーツ環境整備へ



うさみ
宇佐美まり議員



地域で活動をする剣志会

○ 学校の働き方改革を踏まえ、教職員の負担軽減が求められている。地域連携によって持続可能で充実した部活動の環境整備についての、運営実態と課題は。

○ 近年、入部希望する生徒が減少し、教育活動として部活動を存続していくための部員の人数確保が難しくなっている。

○ 生涯学習推進計画と連動する形で、開放型のフリースポーツクラブや多種多様な地域部活動の環境を整えていきたい。

○ 地域住民にとっても、より良い地域のスポーツ環境を整えていきたい。

○ 具体化される国や府の方向性をもとに、開放型のフリースポーツクラブも視野に入れる中で、休日の部活動の段階的な地域移行に取り組みたい。

○ 整備により、質の高い指導者の確保などが期待できる。生涯を通じた運動習慣作りの促進は、健康づくりの機会・場になるのでは。

危険木伐採補助金拡充は

府に要望・協議し取り組んでいく



ふじもとひであき
藤本英樹議員



平成30年台風21号倒木被害状況

○ 新たな森林所有者・林業者・町による森林の経営確保のため、森林環境譲与税が導入されたが、本町への配分状況は。

○ 令和元年度約458万円、2年度約974万円、3年度約1,071万円、3年間で約2,500万円の交付があった。

○ 森林環境譲与税の使用は。

○ 森林整備を第一と考え、所有者に対し意向調査を実施した上で、経営管理権集積計画を作成し、経営管理を実施していく。

○ 本町は森林面積が多く、危険木の対応について要望が継続的にあることから、府事業の事業費拡大、採択要件の緩和、町事業の財源確保を含め、府に要望・協議する中で連携して取り組んでいきたい。

○ 府や町は民家に覆い被さる危険木伐採に対し、補助金を制定しているが、少額であり要望を網羅できていない。住民の不安解消、安全確保の観点から取り組みの拡充を行えないか。

観光振興計画の進捗と展開は

計画に沿った内容で進んでいる



あさだ あきひろ
浅田晃弘議員



交遊庵やんたん秋のマルシェ

○ 平成28年3月に策定した観光振興計画の進捗状況は。

○ 外部講師を招いてガイド養成の講座を開催。おもてなしをする「人」の発掘と育成に取り組んだ。また、大学と連携した写真展や地域おこし協力隊による体験プログラムを展開している。

○ 基盤整備では、宗門交流庵やんたん、西ノ山展望広場、奥山田ハートフル化石広場などの整備を行った。また観光情報発信では、SNSやポータル

○ 現在活動されている団体や個人を結びつけるような情報交換の場を設ける。ゆくゆくは本町の観光全般を担う組織の設立を進めて行く。

○ 「食」や「体験」など地域資源をさらに磨き上げた新たな観光需要を創出していく。

○ 観光まちづくり会議の設置を提案するが。

○ 振興計画の中期の展開は。

○ ルサイトの構築やガイドブックの作成などを行ってきた。

野猿対策の即応性は

電動ガンの貸し出しを開始



やまもとただし
山本精議員



貸し出しを開始した電動ガン

○ 有害鳥獣の農作物への被害の状況は変わっていない。特に宇治田原A群やはぐれの野猿の被害は大きい。宇治田原A群に従来の発信器とともにGPS用発信器を装着したが、今は電池切れの状態にある。野猿の出没情報は、依然として住民の目撃情報に頼っている。野猿の位置情報の即応性は。

○ GPSの寿命は1年と極めて短く、更新が高額となる。野猿等追い払い隊のパトロール及び発

○ 信機や住民の皆様の情報で、現状で野猿位置をある程度把握できると認識している。GPSの更新については、今後の状況など踏まえ考える。

○ また、今年度から区の要望に基づき追い払いに即応性のある電動ガンの貸し出しを開始した。

○ 従来の発信器も3年目で、いつ電池切れになるかもしれない。1日も早く取り付けることが必要では。

○ 既に府と協議・調整している。

給食費の公会計化の実施は

課題克服に向け研究を進めたい



はらだ しゅういち
原田周一議員



小中学校で提供されている給食

○ 教職員が本来担うべき業務は、児童・生徒と向き合い、教育活動に専念する事にある。中央教育審議会の答申でも、給食費は、公会計化および地方公共団体による徴収を基本とすべきと示されているが。

○ 公会計化の導入は、教職員の業務負担軽減、保護者負担の公平性等が期待できる。一方で、徴収システムの導入に発生する費用、導入後の体制の強化等課題が多い。

○ 教職員が当該の業

○ 12月議会で語った教育長のプログラミング体験の感想は。

○ 私の理解不足もあるが、40歳過ぎてPCを学んだ世代には、自らプログラミングしなれば、支障を感じる状況にない。一方、小中学生は経験や体験を通して、育っていくことが必要である。

○ 教育長が大人の勉強の重要性を職員や住民に示すチャンスであったので、非常に残念である。それでは、小中学生が同

○ 仕事を言っても文句も言えない。しかし、実際問題として、明確な目標がないとモチベーションの維持は難しい。そこで、小中学生向けに町主催のプログラミングコンテストを年2回開催してみたいどうか。

○ プログラミングのコンテストについては今後の学習の進捗を見ながら、必要性も含め、検討していく。

○ 務から解放されることで、本来の業務に専念できる。保護者の公平性の確保・コンプライアンスの向上、債権債務の明確化、会計事務の透明性の向上など数値に換算しがたいメリットが大きいのでは。

○ 児童・生徒数は637名。経済的事情などで給食費を公費で一部支援しているため、徴収対象者はさらに少ない。費用対効果の面から多くの課題がある。課題克服に向け研究を進めたい。

プログラミングコンテストは

必要性も含め、検討していく



もりやまたかひろ
森山高広議員



プログラミング入門の本

○ 12月議会で語った教育長のプログラミング体験の感想は。

○ 私の理解不足もあるが、40歳過ぎてPCを学んだ世代には、自らプログラミングしなれば、支障を感じる状況にない。一方、小中学生は経験や体験を通して、育っていくことが必要である。

○ 教育長が大人の勉強の重要性を職員や住民に示すチャンスであったので、非常に残念である。それでは、小中学生が同

○ 仕事を言っても文句も言えない。しかし、実際問題として、明確な目標がないとモチベーションの維持は難しい。そこで、小中学生向けに町主催のプログラミングコンテストを年2回開催してみたいどうか。

○ プログラミングのコンテストについては今後の学習の進捗を見ながら、必要性も含め、検討していく。

一般質問

一般質問

7月19日の委員会では各課の第2四半期の事業執行状況、報告事項9件があった。

〈報告事項〉

総務課

・入札監視等委員会の開催概要

・宇治田原町職員コンプレックス条例(案)

住民課

・町民税(個人)の賦課状況の推移

・令和4年度町税徴収実績(第1四半期)

・令和4年度人口動態集計(第1四半期)

計(第1四半期)までは検討してみる。



新しい地域公共交通利用体験会

まちづくり推進課

・第2回地域公共交通活性化協議会の開催結果

・回数券の導入は。

・メリットが大きい定期券や一日券としていく。

・デマンドタクシーで移動不可の区間がある理由は。

・居住地から指定目的地間と設定しているため。

・緑苑坂は路線バスのみの利用となる。

・便数減少傾向にある

・が、将来にわたっての走行保証は。

・従前どおり、今後もバス会社と交渉を継続していく。

・宇治田原都市計画マスタープランの変更

産業観光課

・茶品評会審査結果

上下水道課

・水道施設の更新予定について

7月20日の委員会では各課の第2四半期の事業執行状況について質疑を行った。

福祉課

・住民税非課税世帯等への臨時特別給付金事業の給付対応は

・未給付者に対する対応は。

・給付対象者には確認書を発送し、勧奨通知を送付している。

・健康対策課

・高齢者保健事業と介護予防事業の一体的な対策は

・多くの人が少しずつ、全ての人が対象とする普遍的な対策が必要では。

・健康診査のチラシを入れ、多くの方に普遍的なアプローチを考えている。

・ウォーキング応援事業

・業は女性参加者が多い。男性参加を増やす対策は。

・夫婦での参加もあるが、10月・12月は男性が参加しやすい日程も考えている。

・子育て支援課

・保育所でのコロナ感染予防対策は

・4歳以下はワクチン接種がないが、対策は。

・家庭での健康管理、注意喚起を行っている。感染の増加が見受けられ、プール遊びも中止とした。

・学校教育課

・ふるさと応援キャリア教育事業での商品PRは

・商品化されたもののPR方法は。

・ふるさと納税返礼品として、サイトに掲載予定である。

・生涯学習事業計画での個人・団体等との連携は

・生涯学習事業計画の進捗状況は。

・生涯学習推進協議会を5月末に開催し、各種団体の意見も聞きながら取り組みをしている。



タブレットによるAIDリルの説明を受ける委員

第17代消防団長

ふじ た まさ し 藤田 真至 さん

第17代消防団長に就任されました藤田真至氏にインタビューいたしました。



Q. 住民の皆さまへ消防団のPRを

A. 多様化する災害の中、消防団に寄せられる期待や役割は大きなものとなっています。

しかし、団員確保が全国的に課題となっており、新入団員の確保に苦慮しています。消防団では、消防団応援店制度や、学生消防団活動認証制度を実施しており、今年度からは女性消防団員の募集も始めました。

「大切な家族を守る」「我がまち・我が故郷を守る」ために、皆さまのチカラが必要です。今後とも消防団へのご支援をよろしくお願いいたします。



消防団夜間訓練の様子

Q. 消防団長に就任されての抱負を

A. 消防団長という大役を仰せつかり、身の引き締まる思いです。大任ではございますが、諸先輩方の功績を引き継ぎ、消防団一丸となって、住民の皆さんの生命・財産を守るため、誠心誠意尽力してまいります。

Q. 消防団に入団されたきっかけは

A. 地元の先輩から誘われたことがきっかけで、入団をしました。

Q. 消防団員としてよかったことは

A. 他業種の人や、湯屋谷地区以外の団員と活動を通して関わり合えたことが、かけがえのない財産となっています。

Q. 宇治田原町への想いは

A. 仕事で町外に出ることがありますが、生まれ育った宇治田原に戻ってくると心が落ち着き、宇治田原が好きなんだと感じます。



楽しく走れたかけっこ（保育所）



小学校6年生のラストRUN（田原小学校）



勝利に向けて力を合わせ（維孝館中学校）



総合文化センターでのロビーコンサート

次回議会の予定
 〈12月定例会〉
12月5日 開会日
 詳しい予定はHPにて
 お知らせします。

編集後記

今年の夏は、連日猛暑日となりました。7月後半から8月にかけては、全国各地で記録的な豪雨となり、9月には台風14号などの影響を受けました。

また、コロナウイルス新規感染者激増の影響で、今なお経済や社会活動は深刻化しています。

住民の皆さまも、不安やストレスを感じる日々が続いておられることと
 思います。これまでの教訓・課題を生かし、ワクチン接種や医療体制のあり方を含め、早急に対処していかなければならぬ
 と感じております。

「議会だより」は、皆さまに親しまれる紙面をめざしております。

ご意見、ご感想をお寄せください。

広報編集副委員長

宇佐美